

ぐしゃ

ぐしゃ

愚者・愚者 な考え。

そこから何か生まれる♪(軽い関西弁版)

Too 言った～

ふたもと

たろう

二元 太郎

Futamoto Taroh

青山ライフ出版

目次

はじめに	6
第1章 健康	8
その1：【シンプル食は長身】	8
1) 外人は背が高い	8
2) シンプル食は背が高い	10
3) シンプル食は効率が良い	16
4) 日本人は長寿	18
5) 健康寿命	21
その2：【高カロリー食でダイエット】	25
1) ヨシの【重さ作戦】	25
2) 植物と動物の【呼吸の違い】	29
3) 高カロリーは減量に良い	34
4) 砂糖はダイエットに良い	40
第2章 防犯	44
その1：【制度改善が不可欠】	44

1) 隠蔽と忖度	44
2) 警察	50
3) 消防	61
4) 「やる気」の出る制度を	63
その2：刷り込み	67
1) <関心>から<監視>へ	67
2) 刑務所の目的	69
3) 死刑と終身刑	76
4) 執行猶予	78
5) 罰金	80
6) 隔離期間	82
7) 社会復帰	83
8) 家名	84
9) 刷り込み	86

第3章 国..... 94

その1：国って何や？	94
1) 縄張り	94
2) 誇り(自慢)	100

3) 国とは？	106
その2：その【国】は何を指す？	113
1) 国家賠償	113
2) 日中関係	115
3) 領有権	116
4) 通貨“元”	117
5) 戦争	118
6) ビジネス(経済)	120
7) 技術(人材)	122
その3：今や、世の中ポーターレス	127
1) スポーツ	128
2) ノーベル賞	130
3) 経済	132
4) 居住地	135
5) デジタル社会	137
6) 愛国心	139

第4章 疑え…………… 146

1) 【疑え】専門家！	146
2) 【疑え】公表数値！	154
3) 【疑え】アンケート結果！	158

第5章 議員	166
1) 議員の給与	168
2) 議員の数	173
3) 議員の【やる気】〈統治者、支配者意識〉	175
あとかき	186

はじめに

© 2017 by the author. All rights reserved.



ヨシ

中小企業勤め。資産なし。
人好しで純粋な面あり。
小柄でメタボ体形。



ヒデ

中小企業勤め。
実家は農家でやや資産あり。
プチ知恵あり。中肉中背。



隠居

結構の博学。
婆さんと2人暮らし。
昔の平均的日本人体形。



ピエール

ベルギー人だが、
世界中をウロウロして、
今は日本に住んでいる。

ヒデとヨシは近くに住んでおり、勤め先は違うが、旧知で仲が良い。

時間があると世間話をしてるが、内容次第では、隠居の所に意見を聞きに行く。

そこに、時折、顔を出すピエールは、どこで覚えたか妙な日本語を使う。

そして、日本しか知らぬヨシとヒデに海外の知識を披露するのだが、ヨシとヒデはともかく、隠居には新鮮なコメントと重宝されている。

そんな、4人のグシャグシャ会話を纏めてみた。

二元太郎記


第1章 健康


その1：【シンプル食は長身】


寒かった冬が明けた休日 《ヨシの家にヒデが来る》


(*対応表  =ヨシ、 =ヒデ、 =ピエール、 =隠居)


1) 外人は背が高い

「 お～。ヨシ元気か。暇なら邪魔するで」

「 ちょうどエエわ。ヒデに話したいことがあるんや」

「 何じゃ？ 難しいのは止めやで。お前は時々変なことを
言いだすからな」

「 あんな。最近、この辺でも、外人さんを良く見るようになったやんか。ほんで、やっぱ背が高いのが多いな。何で外人は背
が高いんや？」

「 でも、俺らと変わらんのもいてるで、特にアジアの連中は。
でも、確かに白人さんは高いのが多いな～」

「 せやろ、俺は小さいから側に寄ったら、大人と子供程も

違う時があるわ」

「👤ほんでも、大きな連中は寒い国に住んどる奴が多いのとちゃうか。日に当たろうとして背伸びしてるから、背が伸びるんやろ？ 暗闇で育てるモヤシがそうらしいで、お日さんを探して、よろよろ伸びよらしんや」

「👤ほな、俺は子供のころ、日に当たり過ぎたんかな。せやけど、日本でも、若いもんは背が高くなっとるで。最近は日当たりが悪くなったからちゅうんか？」

「👤高いビルが増えたんで、昔より日当たりが悪いんや」

「👤でもやっぱ、食いものせいとちゃうか。日本人もエエもん食う様になったからな」

「👤せやけど、アメリカ人なんか、テレビではハンバーガーとコーラーやで、エエもんを食ってると思えんが、大きな体してるのが多いんか」

「👤そう言えば、何となくやけど、いろんなもんを食っとるやつは背が小さいのとちゃうか」

「👤確かに俺のダチでも、食い道楽のやつは背は高くない気がするな」

「👤雑食ちゅうやつかな」

「👤グルメちゅうのとちゃうか」

「👤そんな大したもんやあらへんが、好き嫌いなく色んな物を食っとるやつは小さいのが多いんちゃうか。そう言えば、動物でも草ばっかり食っとる牛や象はデカいが、何でも食いよる

ネズミは小さいやんか。やっぱ、雑食がチビや」

「㊦確かにそうかも知れへんな。そうや、暇やったら、ちょっと隠居の所へ行かへんか？ ほんで、俺らの話を聞かそうや」
そこにピエールが顔を出す。

「㊦あれっ、ピエールが来たやんか」

「㊦あれ、お二人さんお出かけでっか？」

「㊦隠居の所に行くんや」

「㊦ありゃりゃ。でも、出かける前で良かったわ」

歩きながら、ヨシとヒデが話の内容を簡単にピエールに説明し終わった頃に隠居の家に着く。

場所替わって《隠居邸：ヒデとヨシがピエールを伴って来る》

2) シンプル食は背が高い

「㊦ありゃ。3人さんお揃いでおいでか。ピエールも元気そうじゃの」

「㊦隠居さん。お邪魔します」

ピエールがヨシとヒデの考えをかいつまんで隠居に話す。

「㊦せやから、隠居さんよ。【グルメは背が低い】と言うことをどう思いまっか？」

「㊦グルメちゅうより【雑食】やけどな」

「㊦皆さん、話の前にワテがネットで調べまっさ。ちょっと待ってくんまし。え〜と『＜主要国の30歳男性の平均身長＞ オランダ／182cm、スエーデン／181、ドイ